許諾書

平成　　年　　月　　日

東京大学附属図書館長　殿

（ふりがな）
氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（自署）
ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（自署）
所属(専攻/コースまで記入)：大学院医学系研究科＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿専攻＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
学籍番号（課程博士のみ）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
連絡先(修了後も連絡をとれるもの)
Tel: ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　E-mail: ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

種別	□課程博士　　□論文博士
論文題目 ※論文目録の記載と同じにしてください。 ※論文題目が外国語の場合には、和訳を括弧書きで付けてください。	
インターネット公表の可否 [　　]のいずれかに○をつけてください。	**（全文公表）** [　　] 上記博士論文は東京大学が認める「やむを得ない事由」※ に該当しないことを確認しました。「東京大学学術機関リポジトリへの提供論文利用許諾要件」にしたがって、上記博士論文（全文）の公表を許諾します。 ■ 博士論文の全部または一部が、既に単行本もしくは雑誌掲載等の形で刊行されているが、リポジトリでの公表可能日が「学位授与日から１年以内の日付」である場合は、(全文公表)の[　]に○をつけ、公表可能日を記入してください。 公表可能日　：＿＿＿＿年＿＿月＿＿日
	（特例による公表） [　　] 上記博士論文は東京大学が認める「やむを得ない事由」※ に該当するため、「東京大学学術機関リポジトリへの提供論文利用許諾要件」にしたがって、[一部除外・要約・書誌情報]の公表を許諾します。
	（特例による公表・単行本もしくは雑誌掲載等の形で刊行される予定） [　　] 上記博士論文は東京大学が認める「やむを得ない事由」※ にある、「博士論文の全部または一部が、単行本もしくは雑誌掲載等の形で刊行される予定」に該当するため、「東京大学学術機関リポジトリへの提供論文利用許諾要件」にしたがって、[一部除外・要約・書誌情報]の公表を許諾します。 また、以下の公表可能日を経過した場合には、他の理由がない限り、自動的に上記博士論文（全文）が公表されることを許諾します。 公表可能日　：＿＿＿＿年＿＿月＿＿日 (学位授与日から５年)
指導教員の確認 (論文博士の場合は紹介教員、又は主査)	教員氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（自署）

※ 別紙「博士論文のインターネット公表に関する確認票」を参照。

以下、職員記入欄

学位記番号：博　　第　　号	学位授与年月日：平成　　年　　月　　日
報告番号：甲 / 乙 第　　号	公開年月日：平成　　年　　月　　日

学位記番号、学位授与年月日は研究科において記入する。
報告番号は本部学務課において記入する。
公開年月日は、附属図書館において記入する。

博士論文のインターネット公表に関する確認票

2013 年 3 月に行われた学位規則の改正により、博士の学位を授与された者は、授与された日から1年以内に博士論文の全文を、インターネットを利用して公表することが義務づけられました（東京大学では、東京大学学術機関リポジトリに公表する形になります）。

しかしながら、インターネット公表できない内容が博士論文に含まれている場合や、博士論文の著作者本人に不利益が生じる可能性のある場合などの「やむを得ない事由」が存在する場合には、「博士論文の内容を一部除外したもの」等の公表を以て全文の公表に代えることが認められています。

以下の1から10は、東京大学が認める「やむを得ない事由」です。あなたの博士論文に該当する項目があるか否かをチェックし、該当する項目がある場合は、その内容を具体的に説明する資料等を付した「博士論文公表方法に関する特例申請書」を、あなたの所属する研究科の長に提出してください。

全ての項目について、該当する・該当しない欄の□のどちらかに ✔ を付けてください。

博士論文の全文をインターネット公表できない「やむを得ない事由」	該当する	該当しない
1．博士論文が、立体形状を含むなどの理由により、インターネットで公表できない内容を含む。	□	□
2．博士論文に使用している他者の著作物（図表等）について、インターネット公表に対する著作権者からの許諾が得られていない。	□	□
3．博士論文の全部または一部が共同著作物（共著）であり、インターネット公表に対する共著者全員の同意が得られていない。	□	□
4．被験者あるいは観察対象等の個人情報保護の観点から、インターネット公表に不適切な箇所がある。	□	□
5．博士論文の全部または一部がすでに学術雑誌等に掲載済みであり、契約内容により、インターネット公表に対する許諾が得られていない。	□	□
6．博士論文の全部または一部がすでに図書等として出版されており、契約内容により、インターネット公表に対する許諾が得られていない。	□	□
7．博士論文の全部または一部について、すでに出版契約がされており、契約内容により、インターネット公表に対する許諾が得られていない。	□	□
8．博士論文の全部または一部が、単行本もしくは雑誌掲載等の形で刊行される予定である。 ※8の理由によって全文公表の義務が免じられるのは、研究科の定める一定期間（学位授与日から最長5年）の範囲内に限られます。期間を過ぎれば、他の理由がない限り、自動的に全文が公表されることになります。	□	□
9．特許申請のため、公表できない期間がある。	□	□
１０．その他、インターネットで公表できない特別な事由がある。	□	□

以上、確認しました。

提出者署名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（別紙）

博士論文公表方法に関する特例申請書

東京大学大学院医学系研究科長殿

私は、博士論文のインターネット公表に関する確認票に記した理由により、私の博士論文の全文を公表することができません。

つきましては、

１．一部除外の上での公表

２．要約の公表

３．書誌情報の公表

（該当する番号に○、複数選択可）

をもって全文公表に代えることをお認め頂くよう、具体的に説明する資料を添えて申請いたします。

なお、「やむを得ない事由」が解消された場合には、速やかに全文を公表いたします。

本申請書提出の年月日　　年　　月　　日

所属研究科等：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名（自署）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

博士授与年月日　　年　　月　　日

製本論文の利用に関する許諾書

平成　　年　　月　　日

医学系研究科長　殿

（ふりがな）
氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　（自署）
ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
所属(専攻/コースまで記入)：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
学籍番号（課程博士のみ）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
連絡先(修了後も連絡をとれるもの)
Tel:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　E-mail:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

種別	□課程博士　　□論文博士
論文題目 ※論文目録の記載と同じにしてください。 ※論文題目が外国語の場合には、和訳を括弧書きで付けてください。	
図書館における複製（複写）の可否 ※必ずどちらかに☑をいれてください。	上記博士論文について、 □　全ページ複写を許諾します。 □　著作権法の範囲内での複写を許諾します。 　※論文の半分まで複写可となります。
複写制限の内容 ※個人情報保護など特別な理由があって複写の制限が必要な場合のみ記入してください。	上記博士論文について、 □ 雑誌掲載、または単行本での刊行予定があるため、 　　　年　　　月　　　日まで複写を制限します。 □ 個人情報保護のため、　　年　　月　　日まで複写を制限します。 複写不可の部分は次のとおり： （　　　　　　　　　　　　　　　　　） ※制限期間が終了すると、複製は「複製(複写)の可否」欄に記入された扱いとなります。制限期間を延長したい場合は、再度申請をしてください。
指導教員の確認 (論文博士の場合は紹介教員、又は主査)	教員氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（自署）

以下、職員記入欄

学位記番号　：博　　　第　　　　　号	学位授与年月日　：平成　　年　　月　　日
図書館受領年月日　：平成　　年　　月　　日	公開年月日　：平成　　年　　月　　日

※ 学位記番号、学位授与年月日は研究科において記入する。
※ 公開年月日は製本論文を配置する図書館・室において記入する。
※ 要約公表するときには必ず提出する。

製本論文の利用に関する許諾書

記入例

※ 要約公表するとき（製本論文を提出する時）には必ず提出する。

平成××年××月××日

医学系研究科長研究科長　殿

Family name, （middle name,）First name の順で判読できるようご記入ください。

（ふりがな）　ほんごう　たんせい
氏名：　本郷　淡青　（自署）
ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ氏名：　Hongo, Tansei
所属(専攻/コースまで記入)：　大学院○○○研究科　○○○専攻
学籍番号（課程博士のみ）：　××××××
連絡先(修了後も連絡をとれるもの)
Tel:　XX-XXXX-XXXXX　E-mail:　xxxxx@xxxx.xxxxx.jp

種別	☑課程博士　□論文博士
論文題目 ※論文目録の記載と同じにしてください。 ※論文題目が外国語の場合には、和訳を括弧書きで付けてください。	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
図書館における複製（複写）の可否 ※必ずどちらかに☑をいれてください。	上記博士論文について、 ☑ 全ページ複写を許諾します。 □ 著作権法の範囲内での複写を許 ※論文の半分まで複写可となり
複写制限の内容 ※個人情報保護など特別な理由があって複写の制限が必要な場合のみ記入してください。	上記博士論文について、 ☑雑誌掲載、または単行本での刊行予定があるため、 XXXX 年　XX 月　XX 日まで複写を制限します。 □個人情報保護のため、　年　月　日まで複写を制限します。 複写不可の部分は次のとおり： 〔　　〕 ※制限期間が終了すると、複製は「複製(複写)の可否」欄に記入された扱いとなります。制限期間を延長したい場合は、再度申請をしてください。
指導教員の確認 (論文博士の場合は紹介教員、又は主査)	教員氏名：　（自署）

制限期間が未確定の場合は、大よその期間を記載し、延長が必要になった場合は再度申請してください。
※国立国会図書館での複写はこの許諾に係わらず、著作権法の範囲内で複写されます。

指導教員から署名をいただいてください。

以下、職員記入欄

学位記番号　：博　第　号	学位授与年月日　：平成　年　月　日
図書館受領年月日　：平成　年　月　日	公開年月日　：平成　年　月　日

※ 学位記番号、学位授与年月日は研究科において記入する。
※ 公開年月日は製本論文を配置する図書館・室において記入する。
※ 要約公表するときには必ず提出する。